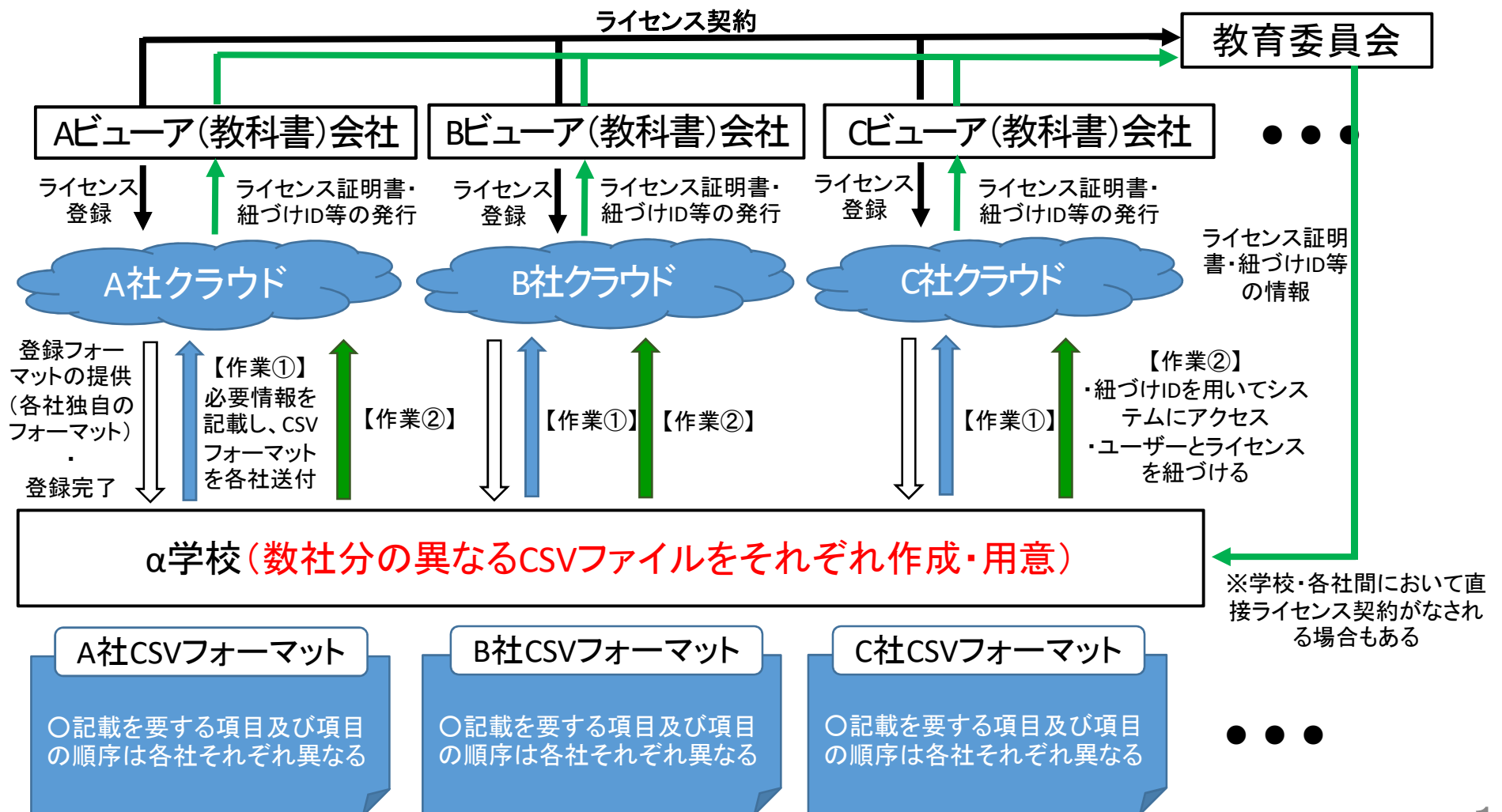


学習者用デジタル教科書利用開始時のCSVフォーマットを用いた情報登録の際の課題等

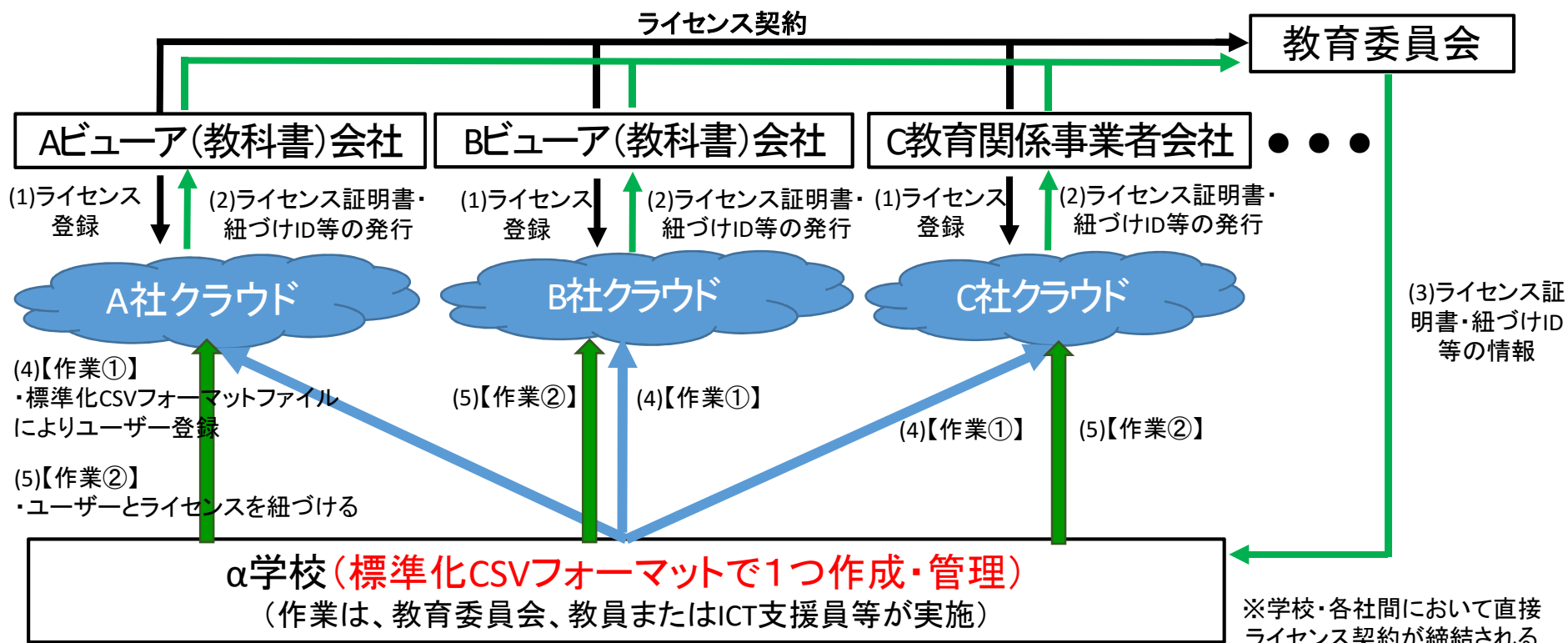
- 学校は、各教科書発行者ごとにテンプレートを作成・送付する【作業①】課題がある(各社の登録フォーマットが異なるので手順が煩雑)。
- CSVフォーマットを用いた登録を行う環境に課題がある。
(文字化け、CSV形式のテンプレートをEXCELで開き保存すると形式が変わる、EXCELが利用できない、ブラウザによっては利用することができない等の課題)
- なお、登録後、CSVフォーマットを用いた情報登録とは別に各ユーザーとライセンスの紐づけを行う【作業②】必要がある。



学習者用デジタル教科書導入の際の登録等に係るフロー図 (CSV標準化後のイメージ)

標準化したCSVフォーマットの導入について

- 学習者用デジタル教科書の導入・管理に関係する統一されることが望ましい仕様について、登録項目を標準化したCSVフォーマットを国が決定し、学校に提供。
- 学校では、標準化したCSVフォーマットを1回作成し、これを管理するだけで、複数のビューア(教科書発行)会社への登録が可能となる。



標準化CSVフォーマット(案)

- <標準項目(必須・任意)>
- 学校等において必ず入力を要する標準項目(必須標準項目)
 - 学校等において必ずしも入力を要しない任意の項目(任意標準項目)
(ただし、発行者によっては必ず入力を要する項目もあり得る)
- <各社独自項目>
- 使用する対象の教科書の発行者ごとに独自に入力を要する項目(各社独自項目)

学籍簿や校務支援システムから児童生徒の情報を出力

標準化したCSVフォーマット導入に当たってのポイント、検討課題

○標準化後の運用(案)

- 学習者用デジタル教科書の導入・管理に向け、登録項目を標準化したCSVフォーマットを文部科学省において公開し、学校等に提供※1。
※1 標準化CSVフォーマットファイルの具体的な提供方法は、今後の検討事項
- 登録項目は必要に応じて更新を実施。その際、各社独自項目の追加については、各社が項目名と具体例を文部科学省に提示し、調整を行う。

○標準化に係る検討の方向性(案)

- 各事業者の改修コストに配慮しつつ、学校現場の利便性を向上させる柔軟な標準化を実施。
→事業者における標準化CSVフォーマットファイル※2の取り込み処理※3について、各事業者との関係において必要のない項目は、「エラー」とならないようにし、取り込み対象としないことによって実現することが良いか。
- 必須標準項目・任意標準項目は、必要最小限の範囲とすることが適当ではないか。
 - ＜必須標準項目＞
 - ・情報登録・管理等のために最低限必要とする項目
 - ・今後の教育システム全体の望ましい姿を考えたときに必要となるなどの観点から必須と考えられる項目
 - 各事業者は、当該項目について処理・機能するように対応することはどうか。(処理の種別、ユーザー識別の方法、ユーザーの学年等)
 - ＜任意標準項目＞
 - ・学校における情報管理等において必要と考えられる項目等
 - 各事業者のシステムに応じて、処理・機能する項目か否かについて、学校等が入力する際にフォーマット上に明示することはどうか。

※2 標準化されたCSVフォーマットのイメージ図

必須標準項目 1	必須標準項目 2	必須標準項目 3	任意標準項目 1	任意標準項目 2	A社独自項目	B社独自項目

※3 各社におけるCSVの読み込み処理のイメージ図

